

# 八重山毎日新聞

Yaeyama Mainichi

2020年(令和2年)

1月15日(水曜日)

発行所  
株式会社 八重山毎日新聞  
〒907-0004 沖縄県石垣市宇野野城614



齊川 満氏

全国の同社提携・加盟店で買い物や利用すると100円につき1ポイントがたまる「Ji-Carrierカード」の制度を構築・導入した齊川氏は、国内の自治体を取り組む成功事例を紹介。ことし7月以降に始まるマイナ

デジタルマーケティングとは、メール、Webサイト、スマートフォン、デジタルのカードやチラシ、顧客データベース(DB)などのあらゆるデジタルチャネルを活用することで消費者の購買意欲を高め、顧客に関するデータを可視化しマーケティングを行うこと。

## デジタルマーケティング

「デジタルマーケティングの重要性についての説明会(八重山ビジターズビューロー主催)」が14日、石垣市商工会ホールであった。株式会社代表取締役社長の齊川満氏を講師に、参加者は八重山圏域内で地域循環型共通ポイントカードを発行し、失効ポイントを現金化して地元の商店街や中小企業に還元する仕組みについて学んだ。

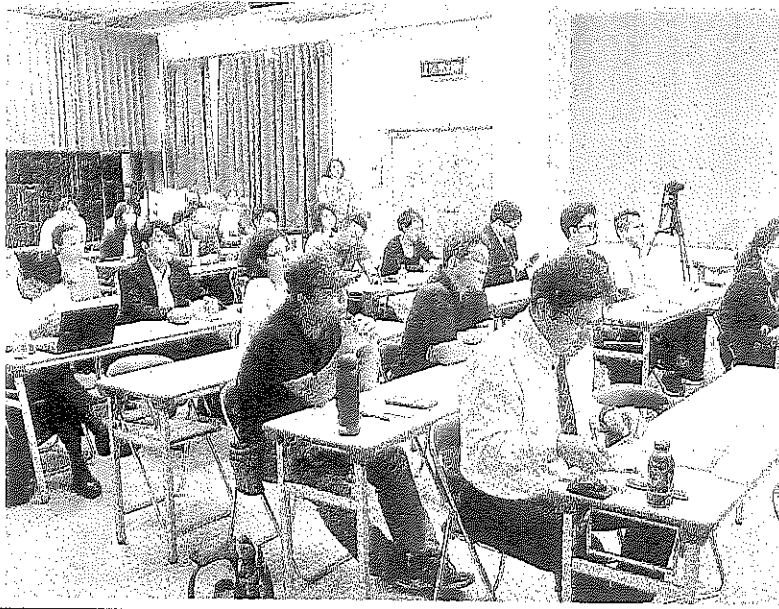
# 地域の活動原資に

## 失効ポイントを活用

バーカードを持つ人が「ナポイント」、自治体独自やキャッシュレス決済時に国がポイントをつける「マイナポイント」が失効した際、失効ポ

イントを現金化して地域の活動原資にするための策を解説した。観光案内・施設での多言語化対応、販売促進効果も高める情報配信の強化も重要なテーマに挙げたほか、ポイントサービスを通し

て、消費者が八重山地域での買い物や観光等の実態をDB化し、販売促進展開、八重山の地域活性化にもつなげたい考え。齊川氏は「もうけ主義の大企業戦略でなく、地域にポイントを落とす仕組みが大切」と話した。参加者からキャッシュレスアプリの会員登録について質問があり、齊川氏は「観光客にアプリをどうダウンロードしてもらうかが鍵になる。会員化させるために特典をつけるなど工夫も必要」と答えた。



デジタルマーケティングについて説明を聞く参加者ら  
14日午後、石垣市商工会ホール